

私の夢

— 新年度を迎え —

館長橋 本 昭 二

私が今一番夢にまで欲しいものは、「大代老人ホーム」です。全くの素人考えて笑われますが、入所自由、大代をはじめ近隣のおとしよりの方々の憩いの老人クラブの様なもので、『明日四・五人で行くから昼食を』と言って置いて、当日出かければ風呂に入ったり、アンマ器に当たったり、集まって来られた皆さんと話に花を咲かせ、テレビやゲートボールに興じたりし、夕暮れの迫る頃には又、孫の待つ我が家へ帰って行く。無論、他の養老院の様に長く入って居られる設備もあり、出来れば医療施設もと、悠ばった夢を見て居ります。

もう一つの夢、昨年から始まった「ふる里と都市を結んでの交流の会」三年計画の第二年度に入ります。是非

昨年以上に成功させたいと思います。幸い此の方は公民館だけの事業ではなく、大代町挙げての事業として自治会連合会で、全面的に協力し推進してやろうと、非常な熱意と御協力を得て居り、この夢は実現しそうです。

代議員の皆様と相談し、昨年度の反省点を良く考慮しながら、この事業を進めて行きたいと思えます。大代町の皆様方も、何卒暖かい御理解と絶大な御協力を賜わります様、御願ひ申し上げます。

相互依存の態勢で

— 明るい町づくりへ —



婦人会長 後 藤 マサエ

二十一世紀への橋渡しとしてこの度婦人会長を仰せつかり重荷を感じている毎日でございますが、どうぞよろしくお願ひ申します。

私達の婦人会は連綿として四十年の長きに渡り、多くの先人の御苦勞のあったことを忘れてはなりません。近頃耳にする言葉に「婦人会をやめます」という自由な言葉を聞きますが、この大代から婦人会をやめれば明るい町づ

くりどころではありません。

去る三月、卒業生を励ます会がありました。この時も会員がお手伝いをさせてもらいましたが、卒業生が喜んでくれました。その他、各団体と手を取り助けられたり助けたり、社会形成に交通安全、敬老会、都市交流、追弔会運動会、文化祭など相互依存の関係を保ちながら活動してまいりました。

どうぞ本年も活動が展開できますように、大代婦人はみな婦人会員でありますことを各家庭で応援下さいまして、明るい町づくりのお手伝いができますようにお願ひ申します。

ピカピカの一年生

— 初めての入学を迎えて —

本郷 横

トシサダ
明 完

この春、我が家の長女・かおりが大代小学校へ入学する。

未だ私が小学生時代に書いた教室への落書も残っているよう、あの懐かしい我が母校へ、私の娘が二十数年前の私のように入学をする。

何か妙な気分である。

私が大代小学校を卒業したのが、つ

いこの間のように思っているせいかもしれない。

あの頃の事を思い浮かべると、次から次へと記憶がよみがえってくる。

終いには、6才の娘とまったく変わらない自分になってしまふ。

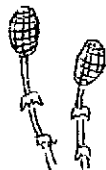
今、娘は何の不安も感じず、私がこの感想文を書いている隣りで静かに眠っている。

親の私は、入学した後の人一倍恥づかしがり屋の娘のことを思うと、不安や心配で手放して喜んでばかりいられない。それに対し、娘は新しい机や鞆など我が物にし、ただ嬉しいばかりのようである。

子供の成長を喜ばない親はいないであらうが、私も例外なく子供の成長は何よりも楽しみである。

親としては、ただただ健康で伸び伸びと育ってくれることを願うばかりである。

新入学を迎えて



川上 笠 井 節 夫

昭和六十二年、桜の花も満開に近い春、私の長女も小学校に入学する事に

成りました。親子共に喜びと不安に胸をときめかせている次第です。

親の手を離れて初めての団体生活の仲間入りをしたのが二年前の春、此の間とかく仕事や暮しに追われて行事にも余り出席してやれず、今、思えば何一つしてやれなかつた事に子供がどう感じた事か。最も親の愛情を必要とする此の時期、子供の純心な目はごまかせはしない。胸の痛む思いです。

これからは時間の許す限り子供に接するようにしてやらなくてはと改めて思う今日この頃です。又、親として子供の鏡となるように私自身、もっと頑張らなくてはと心新たにした所です。

今年是一年生が、わずか六人と言う少人数ですが、みんな仲良く、お互い助け合って、元気に育ってほしいと願っております。

中学校の厳しさ

中一 竹 間 裕 二

ぼくは、こんど中学一年生になります。

中学校の勉強は小学校の勉強よりきびしいと兄が言っていました。ぼくも

兄が中一のころ使っていた数学や英語や科学の本を見せてもらいましたが、最初の方は簡単そうでも、ならつていくにつれて難しくなっていく。

英語も初めのページは、ほとんど読めるけど本の中に入ると読みにくくなってきます。一つ兄から聞いたことで気づいたんだけど、国の名を言う時や名詞を言うとき、時々発音がちがって、そういうとき日本語と外国語がこんがらがってしまふそうです。部活でもそうです。部は庭球部だけれど、初めのころは玉ひろいだけ、冬休みのはじめは時々打たしてくれるときもあつたが、試合のときは玉ひろいです。

もう、たいくつでたいくつで、いつ打たしてくれのかなあとばかり思っています。そこで、すわっている先生にしかられました。中学校へ入学してなまけたりしていたらもつとすごくしかられるかもしれませぬ。それほど中学校がきびしい所だと少しづつわかってきました。

もうなまけていられませぬ。それは呼びかけて、ぼくたちは「りっぱな中学生になるようがんばります。」とちか

ったからです。それを守るためには、なんにでも負けず、苦しいことがあっても精一杯がんばって励みたいと思います。

5よ5よ中学生に

中一 山下 春美

小学校の時は、上級生の人でも〇〇さん、〇〇君などと、きがるに呼んでいたけれど、中学校に入ると急に〇〇先ばいと言わなければいけないので少し言いくいような気がしました。

わたしは、お姉さんがいてお姉さんのことも、先ばいと言わないといけないので中学校の中では先ばい、家の中ではお姉ちゃんと呼ぶなければならなので、ややこしくなると思います。中学校に入ると勉強もむずかしくなり、英語などの教科がふえるし、部活もおそくなるけれど、勉強をがんばりながら部活をやって行きたいです。

春の全国交通安全運動

—交通事故のない明るい町づくり—

大代駐在所 福岡 弘和

このたびの定期異動で、大代駐在所

勤務を命ぜられ、着任早々に皆様のご協力を受けて、日々の活動を推進させて戴いていきますことを、まずお礼申し上げます。

私は、「春の全国交通安全運動」に限らず、年間を通じて交通事故のない明るい町づくりを考えております。

そのためには、人も車も自転車も、相手の立場にたつてゆずり合えば、交通事故はなくなると思います。

前任地松江では数多くの死亡事故、重傷事故を目のあたりにして来ましたが、加害者の方、被害者の方の事を考えますと胸が痛くなります。

町民の方、ひとりひとりがちよつとの注意で交通事故はなくなると信じます。御協力をお願い致します。

おしらせ

◇役員改選

。自治会長交代（他は留任）

四日市（新）中垣英親

川上（"）渡井広志

本郷（"）曾根巖

。婦人会長（新）後藤マサエ
 " 副会長（新）武田絹枝
 " "（留任）藤井房子
 夫々前任の方長い間御苦勞様でした。

◇ご結婚

おめでとうございます

上市 中垣昌富

" " ひとみ

◇お帰りのなさい（帰郷）

柿田岸 和子

" " 俊夫

上市 渡利春美

" " 真喜子

" " 愛子

転入

上市 福岡弘和

" " 麻美子

" " 紗智子

大代駐在所

（旧右原）

（曾根宅）

